



# 2017年

## 国内 POD ソリューション

## 市場動向と予測

2017年10月31日

リードアナリスト：後田雅人、アソシエイト・ディレクター

本報告書は株式会社キーポイントインテリジェンスによって、限定されたクライアント様にマルチクライアント調査報告書として提供されます。

本書の著作権は株式会社キーポイントインテリジェンスに帰属しますので、本報告書の文章、写真、図表等の一部分または全部を株式会社キーポイントインテリジェンスの同意を得ずに転載することを禁じます。

株式会社キーポイントインテリジェンス  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル8F  
TEL : 03-5475-2663 FAX : 03-5475-2710  
EMAIL : INFO@KEYPOINTINTELLIGENCE.JP





## Document

調査の目的.....	5
調査の目的.....	5
市場の分類と定義.....	6
ワークフロー.....	7
Web-to-print.....	9
バリアブルデータ印刷.....	11
製品セグメント.....	11
調査方法.....	13
調査方法、調査対象.....	13
エグゼクティブサマリー.....	14
レコメンデーション.....	17
ワークフロー市場分析.....	19
ワークフロー市場概況.....	19
2016年のワークフロー市場規模.....	19
主要ベンダー各社の販売状況.....	19
ワークフロー国内市場規模予測.....	24
成長促進要因・阻害要因.....	24
ワークフローソフトウェア市場規模予測.....	27
主要製品、ベンダー動向.....	30
コニカミノルタ.....	30
キヤノン.....	33
リコー.....	38
富士ゼロックス.....	42
日本HP.....	45
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ.....	48
スクリーングラフィックソリューションズ.....	50
ハイデルベルグ・ジャパン.....	52
日本アグファ・ゲバルト.....	55



グーフ .....	57
ウイングアーク 1 s t .....	60
Web-to-print 市場分析 .....	62
Web-to-print 用ソフトウェア主要製品 .....	62
Web-to-print 市場概況 .....	62
2016 年の Web-to-print 市場規模 .....	62
主要ベンダー各社の販売状況 .....	63
エンドユーザーの導入および活用状況 .....	64
アプリケーション .....	67
クラウドサービスへのシフト .....	68
Web-to-print 国内市場規模予測 .....	69
成長促進要因・阻害要因 .....	69
Web-to-print 用ソフトウェア市場規模予測 .....	72
主要製品、ベンダー動向 .....	74
エイシス .....	74
ミック .....	77
J SPIRITS .....	79
グーフ .....	81
イー・エフ・アイ .....	83
アドビ システムズ .....	84
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ .....	86
VDP 市場分析 .....	89
VDP 用ソフトウェア主要製品 .....	89
VDP 用ソフトウェア市場概況 .....	89
2016 年の VDP 市場規模 .....	89
主要ベンダー各社の販売状況 .....	90
VDP 国内市場規模予測 .....	92
成長促進要因・阻害要因 .....	92
VDP ソフトウェア市場規模予測 .....	94



主要製品、ベンダー動向.....	96
モリサワ.....	96
サブライム.....	98
タブコム.....	101
ユニテクスジャパン.....	103
ポーラメソッド.....	105
ピツニーボウズジャパン.....	107
サカタインクス.....	110
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ.....	112

## Figures

図 1: デジタルワークフロー国内市場規模予測：販売金額.....	14
図 2: Web-to-print 国内市場規模予測：販売金額.....	15
図 3: グラフィックアーツ VDP 国内市場規模予測：販売金額.....	16
図 4: トランザクション VDP 国内市場規模予測：販売金額.....	16
図 5: デジタルワークフロー国内市場規模予測：販売金額.....	27
図 6: コンベンショナルワークフロー国内市場規模予測：販売金額.....	28
図 7: トランザクショナルワークフロー国内市場規模予測：総売上金額.....	29
図 8: コニカミノルタ AccurioPro システム構成概念図.....	31
図 9: キヤノン Production Print Flow Manager システム構成概念図.....	34
図 10: 店頭販促物、POP ショートランシステム（キヤノン）.....	36
図 11: ブックオンデマンドシステム（キヤノン）.....	36
図 12: リコーTotalFlow システム構成概念図.....	38
図 13: 富士ゼロックス FreeFlow システム構成概念図.....	42
図 14: グーフ PC OneFlow システム概念図.....	58
図 15: Web-to-print ソフトウェア主要製品.....	62
図 16: トップパン・フォームズ EFMS.....	68
図 17: BtoB EC 市場規模の推移.....	69
図 18: BtoC EC 市場規模の推移.....	70
図 19: Web-to-print 国内市場規模予測：販売金額.....	72
図 20: エイシス社 BizCard Pro 概念図.....	74
図 21: ミックソフトウェアシステム構成.....	77
図 22: iAutolay Magic 自動組版パック.....	87
図 23: グラフィックアーツ VDP 国内市場規模予測：販売金額.....	94
図 24: トランザクション VDP 国内市場規模予測：販売金額.....	95



図 25: DirectSmile によるマーケティングオートメーション事例 .....	100
図 26: PlanetPress Suite .....	107
図 27: ビツニーボウズジャパンによる PlanetPress Suite システム事例.....	108
図 28: Form Magic 4 カタログより .....	113

## Tables

表 1: 調査対象ソフトウェアのセグメント .....	6
表 2: ワークフローのセグメントと主要製品 .....	8
表 3: Web-to-print の主要製品 .....	10
表 4: バリアブルデータ印刷のセグメントと主要製品 .....	11
表 5: ワークフローのセグメントと主要製品 .....	19
表 6: ワークフロー国内市場規模：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	19
表 7 デジタルワークフローの販売状況.....	20
表 8: コンベンショナルワークフローの販売状況.....	22
表 9: トランザクショナルワークフローの販売状況 .....	23
表 10: デジタルワークフロー国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	27
表 11: コンベンショナルワークフロー国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	28
表 12: トランザクショナルワークフロー国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	29
表 13 Web-to-print 国内市場規模：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 ...	62
表 14 Web-to-print の販売状況 .....	63
表 15: Web-to-print 国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	73
表 16: バリアブルデータ印刷のセグメントと主要製品 .....	89
表 17: VDP 国内市場規模：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	89
表 18: 主要グラフィックアーツ VDP の販売状況 .....	90
表 19: 主要トランザクション VDP の販売状況 .....	91
表 20: グラフィックアーツ VDP 国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	94
表 21: トランザクション VDP 国内市場規模予測：ライセンス・サブスクリプション数、総売上金額 .....	95



## 調査の目的

### 調査の目的

マルチクライアントスタディ「2017年国内 POD ソリューション市場動向と予測」は、POD ソリューション市場の調査である。この調査によって POD ソリューションの市場規模、利用動向を分析し、本マルチクライアントスタディにご参加企業のマーケティング、販売活動の情報源としてご利用いただけるように企画された。

本マルチクライアントスタディでは、デジタル印刷業務に必要なソリューションとして、ワークフロー、バリアブルデータ印刷（VDP）、Web-to-Print の3つを取り上げた。



### 市場の分類と定義

本報告書における POD ソリューション用ソフトウェア分類は、キーポイント インテリジェンスの Production Workflow Software (PWS)のセグメンテーションをベースとしている。

本報告書では、以下の 3 カテゴリーに関する調査、分析を行った：

- ワークフロー
- Web-to-print
- バリアブルデータ印刷 (VDP)

キーポイント インテリジェンスの Production Workflow Software (PWS)サービスでは、上記の 3 カテゴリーを下表の様にセグメントしている。

表 1: 調査対象ソフトウェアのセグメント

Group	Category	Subcategory
Workflow	Workflow Management - Graphic Arts	Conventional Workflow Management
		Digital Workflow Management
	Workflow Management - Transactional	Data Transform
		Transactional Workflow Management
Job Entry and Management	Web-to-Print	Web-to-Print
Content Creation	Graphic Arts VDP	Desktop VDP
		Server VDP
	Transaction VDP	Transaction VDP

ワークフローには、グラフィック系のグラフィックアーツ、帳票系のトランザクションが含まれる。グラフィックアーツカテゴリーには、コンベンショナル（オフセット）ワークフロー、デジタルワークフローが含まれる。トランザクションにはデータ変換ソフトウェアのデータトランスフォーム、トランザクショナルワークフローが含まれる。



バリアブルデータ印刷（VDP）には、グラフィック系のグラフィックアーツ VDP、帳票系のトランザクション VDP が含まれる。グラフィックアーツ VDP にはデスクトップシステムで運用されるデスクトップ VDP、サーバーで運用されるサーバー VDP が含まれる

### ワークフロー

「ワークフロー」には、プロセスマネージメントおよびプロセストラッキングのモジュールが含まれる； プリフライト、トラッピング、インポジションといった特定のプリプレスのタスクを実行するためのモジュールを含む。オフセット、デジタルの環境においては、異なるソリューションが用いられる。

### コンベンショナルワークフロー

コンベンショナルワークフローは、主にオフセット印刷の環境で使用される。このカテゴリーの製品には、アグファ APOGEE、SCREEN グラフィックソリューションズ EQUIOS、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ XMF、コダック Prinergy、ハイデルベルグ Prinect などが含まれる。

### デジタルワークフロー

デジタルワークフローは主にデジタル印刷の環境で使用され、プリフライトやメイクレディなど特定のプリプレスのタスクを実行するためのモジュール、またプロセスマネージメントおよびプロセストラッキングのモジュールが含まれる。このカテゴリーの製品には、富士ゼロックス FreeFlow、コニカミノルタ AccurioPro、リコー TotalFlow、キヤノン Production Print Flow Manager (PPFM)、PRISMAproduction などが含まれる。

### データトランスフォーム

データトランスフォームは帳票系データの変換用ソフトウェアである。このカテゴリーの製品には、リコー Ricoh Data Transform、キヤノン PRISMAproduction などが含まれる。

### トランザクショナルワークフロー

トランザクショナルワークフローはデジタル印刷の環境で使用される帳票系のワークフローである。このカテゴリーの製品には、リコー InfoPrint Manager/ProcessDirector、キヤノン Report Studio、日立 EUR、ウイングアーク 1st SVF/RDE、などが含まれる。



ワークフローの提供形態はオンプレミス以外に、アグファ APOGEE、HP PrintOS など、オフセット・デジタルワークフローの一部でクラウドサービスとしての提供が始まっている。

表 2: ワークフローのセグメントと主要製品

Category	Subcategory	Products
<b>Workflow Management - Graphic Arts</b>	Conventional Workflow Management	Fujifilm XMF, Screen EQUIOS, Agfa APOGEE, Heidelberg Prinect, Kodak Prinergy
	Digital Workflow Management	Ricoh TotalFlow BatchBuilder, Canon Production Print Flow Manager, Fuji Xerox FreeFlow Core, HP SmartStream Production Center
<b>Workflow Management - Transactional</b>	Data Transform	Ricoh Data Transform, Canon PRISMAproduction
	Transactional Workflow Management	Ricoh InfoPrint Manager/ProcessDirector, Canon Report Studio, Hitachi EUR, Wingarc1st SVF/RDE



## ワークフローソフトウェア市場規模予測方法

ワークフローソフトウェアの市場規模（金額ベース）は、以下の式で算出される。

- 「総売上」 = 「新規導入ライセンス分売上」 + 「サブスクリプション分売上（クラウドサービス）」 + 「保守費用、プロフェッショナルサービス費用」

「新規導入ライセンス分売上」は、これまでワークフローソフトウェアを導入していなかったユーザーが新たに導入した場合や、他社のワークフローへ置き換えた場合の売上である。「サブスクリプション分売上（クラウドサービス）」はクラウドサービスの利用料による売上である。「保守費用」には、既に導入・稼働しているライセンスに対する年間・スポット両方の場合での保守に関わる費用などが含まれる。プロフェッショナルサービス費用にはサービスのカスタマイズ費用、設置費用、トレーニング費用などが含まれる。

## Web-to-print

このカテゴリのソフトウェアは、顧客や印刷バリューチェーンの構成メンバーに対してウェブを介したインターフェイスを提供するために使われ、その目的は協業、および顧客向けサービスである。共通の機能として、仕様に基づいた入札、入稿、進捗管理、電子カタログ、テンプレートライブラリー、またソフトプルーフイングが含まれる。このカテゴリのソフトウェアは、ソフトウェアライセンスの提供やホスティングを用いたビジネスモデル（SaaS/ ASP）などを通じて提供される。このカテゴリに含まれる製品の例として、富士グローバルグラフィックシステムズ **iAutolay Magic**、**EFI Digital Storefront**、**JSPIRITS Sapiens Shop Front** などがある。

表 3 は国内で販売されている主要な **Web-to-print** 用ソフトウェアである。**Web-to-print** 用ソフトウェアには印刷物の種類を限定しない汎用タイプの製品に加え、名刺や帳票など特定の印刷物に特化したタイプの製品も含まれる。汎用タイプの製品を使って **Web-to-print** サービスを行う場合、用途に応じた組版データのテンプレートを作成するなどのカスタマイズを行うことになるが、用途特化タイプの場合は特定印刷物のテンプレートがプリセットされている、特定印刷物の組版に求められる制御機能を備えている点などが異なる。用途が限定される代わりに、カスタマイズの手間が軽減され導入から運用開始までの準備期間を短縮できる、プリントバイヤーの細かな要求に対応しやすいなどのメリットがある。



さらに、印刷会社が外部委託/内製によって独自に **Web-to-print** システムを開発するケース、およびクラウドサービスを利用するケースがある。クラウドサービスとしては **Resologic Edition PriBiz**、富士グローバルグラフィックシステムズ **iAutolay Magic-ASP** などがある。

表 3: **Web-to-print** の主要製品

Category	Subcategory	Products
<b>Web-to-Print</b>	Web-to-Print	Efi Digital Storefront, ASYS BizCard Pro, JSPIRITS Sapiens Store Front, MIC iPRO-MARGE / Open! PrintXML, GOOF PC Frontier, Resologic Edition PriBiz, Fujifilm iAutolay Magic

#### Web-to-print 用ソフトウェア市場規模予測方法

Web-to-print 用ソフトウェアの市場規模（金額ベース）は、以下の式で算出される。

- 「総売上」 = 「新規導入ライセンス分売上」 + 「サブスクリプション分売上（クラウドサービス）」 + 「保守費用、プロフェッショナルサービス費用」



### バリエブルデータ印刷

デジタル印刷機と共に利用され、バリエブル（可変）データ印刷用組版データ生成を行うソフトウェアである。宛名印刷/差し込み印刷用の基本的なソフトから複雑かつ大量のトランザクションドキュメントを高速に処理するソフトまで幅広い製品が含まれる。このカテゴリーに含まれる製品の例として、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ **Form Magic**、モリサワ **MVP**、GMC Software **Inspire** などがある。

表 4: バリエブルデータ印刷のセグメントと主要製品

Category	Subcategory	Products
<b>Graphic Arts VDP</b>	Desktop VDP	XMPie uDirect, Fujifilm Form Magic 4 Standard Edition, Morisawa MVP Standard, Tapcom Multi Print In, Objectif Lune PrintShop Mail
	Server VDP	Fuji Xerox FreeFlow Variable Information Suite, XMPie PersonalEffect, Fujifilm Form Magic 4 Server, DirectSmile DirectSmile Server, Objectif Lune PlanetPress
<b>Transaction VDP</b>	Transaction VDP	Ricoh Papyrus Document System, GMC Inspire, Pitney Bowes DOC1, HP Exstream, UNITEX SX PLAS

### 製品セグメント

VDP 用ソフトウェアを以下のように分類する。

- トランザクション：主として帳票コンテンツをベースとするバリエブルデータ印刷物に利用される製品。
- グラフィックアーツ：主としてグラフィックアーツコンテンツをベースとするバリエブルデータ印刷物に利用される製品。

また、グラフィックアーツ VDP 用ソフトウェアを以下のように分類する。

- デスクトップ：クライアントベースで運用される製品。
- サーバー：サーバーベースで運用される製品。



本調査ではプロダクションプリンターのソリューションにフォーカスするために、プロダクションデジタル印刷機と共に利用されない下記の種類のソフトウェアは対象外とする。

- コンシューマープリンター用：賀状作成ツール等
- バーコードプリンター/ラベルプリンター/宛名プリンターなどの専用機用：宛名印字ツール、バーコード生成ツール等
- オフセット印刷機用：データベースパブリッシング等を目的とする自動組版ソフトウェア（情報誌編集ツール等）
- オフィス内で帳票の分散出力用にオフィス向けプリンターと共に利用されている帳票出力ソフト等

#### バリエブルデータ印刷用ソフトウェア市場規模予測方法

バリエブルデータ印刷用ソフトウェアの市場規模（金額ベース）は、以下の式で算出される。「アップグレード分売上」はバージョンアップに伴う費用による売上である。

- 「総売上」 = 「新規導入ライセンス分売上」 + 「サブスクリプション分売上（クラウドサービス）」 + 「アップグレード分売上」 + 「保守費用、プロフェッショナルサービス費用」



## 調査方法

### 調査方法、調査対象

#### 1次調査：

本スタディでは1次調査として、ソリューションベンダー、プリンターベンダーを対象にインタビューを実施した。カテゴリ別のインタビュー実施数は以下の通りである。

合計：23社\*

\*富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ、グーフは複数カテゴリについてインタビューを実施

- ワークフローソリューションベンダー： 11社
  - コンベンショナルワークフロー： 4社
  - デジタルワークフロー： 5社
  - トランザクショナルワークフロー： 1社
  - システムインテグレーター： 1社
- Web-to-print ソリューションベンダー： 7社
- バリアブルデータ印刷ソリューションベンダー： 8社
  - グラフィックーツ： 5社
  - トランザクション： 3社

#### 2次調査：

2次調査としては、文献調査、既存調査結果を活用してソリューション市場の現状を把握し、今後どのような発展傾向が見られるかを分析した。

文献調査では、政府関連機関による統計調査、業界関連機関による発表データを参考にしている。既存調査では、キーポイントインテリジェンスによるPOD国内市場分析、欧米のPODソリューション向けソフトウェア市場分析などを参考資料としている。



<著作権について>

本報告書に掲載された内容の著作権は株式会社キーポイント インテリジェンスに帰属します。本報告書の文章、写真、図表等の一部分または全部を株式会社キーポイント インテリジェンスの同意を得ずに転載することを禁じます。

<お問合せ先>

株式会社キーポイント インテリジェンス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 恵比寿 IS ビル

Tel : 03-5475-2663 Fax : 03-5475-2710

Email : [info@keypointintelligence.jp](mailto:info@keypointintelligence.jp)



# authors



**Masato Atoda**

Associate Director

+81 3 5475 2663



masato.atoda

@keypointintelligence.com

Masato Atoda is an Associate Director in the Tokyo office, Asia Pacific Headquarters of InfoTrends. Since joining InfoTrends in 1999, he has conducted numerous studies on the Japanese POD market including POD hardware, POD software, wide format devices, color proofer, print image quality evaluation, printing cost analysis, and ink jet head application. Mr. Atoda has also conducted projects in other digital imaging area such as document image scanner market analysis, MFP end user needs analysis, digital still camera market sizing, long term strategy development consultation for an imaging manufacturer, etc. during more than 10 years in InfoTrends.

#### **Disclaimer (this is included at the end of each document)**

This material is prepared specifically for clients of InfoTrends, Inc. The opinions expressed represent our interpretation and analysis of information generally available to the public or released by responsible individuals in the subject companies. We believe that the sources of information on which our material is based are reliable and we have applied our best professional judgment to the data obtained.